

病院だより



第12号

平成25年9月1日発行

病院の理念

1. 患者本位の医療を行います。
2. 良質な医療を行います。
3. 行政サービスという自覚を持った医療を行います。

〒418-0076 静岡県富士宮市錦町3番1号

TEL : 0544-27-3151 FAX : 0544-23-7232

e-mail:h-kanri@city.fujinomiya.shizuoka.jp

<http://fujinomiya.cococala.net/html/index.html>

高校生医療職体験セミナー



8月17日、高校生を対象にした医療職体験セミナーを開催しました。富士、富士宮、沼津市の高校生168人が、それぞれ希望した医師・看護師・薬剤師・診療技術・リハビリの各コースに分かれて、普段は入ることのできない病院施設の裏側や、医療現場を体験しました。医師コースでは、患者さんからの寄附金で購入させていただいた心肺蘇生訓練用の人形で、医師の指導の下、挿管やAEDの実技を行い、救急医療を学びました（写真中央右）。また、腹腔鏡手術のシミュレーション機器（写真上段左）や、超音波メスによる切開の実技（写真上段左）、さらに、循環器内科医師が心臓模型で解説しながら心エコーをとりました（写真上段右）。その他にも、中央放射線科では実際使用している医療機器やレントゲン・CT・MRIの写真を診療放射線技師が解説し（写真中段）、リハビリ科では理学療法士が、正しい介助方法などのリハビリ技術を指導しました（写真下段）。生徒からは、「予想以上に色々なところを見学させてもらえて、

とても嬉しかった。（診療技術コース）」、「実習が本格的で、将来薬剤師をやってみたいかどうかを決めることができた。説明が丁寧で分かりやすかった（薬剤師コース）」等、多くの感想が寄せられました。

目次

○高校生医療職体験セミナー

○高校生1日ナース体験

○認定看護師の紹介

○お知らせ

高校生1日ナース体験



助産師の指導の下、生後 1 日目の新生児にミルクを与えている高校生たち（左写真）。患者さんのベッドサイドで話をしながら血圧を測定している（右写真）。



8月8、9日、将来を担う高校生に、看護に理解と関心を持っていただくため、静岡県看護協会主催の高校生1日ナース体験事業を開催しました。富士・富士宮地区の67名の高校生に参加していただき、それぞれ白衣に着替えていただきました。開始式では、佐野看護部長から、看護職は患者さんの一番身近な存在であり、365日24時間必要とされているため、3交代制で勤務している。「看護」の「看」という漢字は「手」と「目」で構成されており、「護」は文字通り「まもる」という意味である。看護師は、自分の目でよく患者さんを観察し、手で状態を

把握し、護っていくことであり、誇りを持って行える職業であるとの話がありました。それぞれ高校生は5人程度のグループに分かれ、病棟看護師と行動をともにすることで、看護師という仕事を肌で体験しました。生徒からは、「小児科で生まれたての赤ちゃんを抱かせてもらった。将来のためになった。」、「看護師は注射だけでなく、顔拭き・歯磨きなど大変だけどやりがいがある。」、「病棟回診を一緒に回らせていただき、手当てをしているときにコミュニケーションが良く取れていると思った。」との声が聞かれ、各自貴重な経験となったことが伺えました。

認定看護師の紹介



武部認定看護師

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤治療をうける患者さんとご家族が、十分な情報を得て納得したうえで、安全・確実に安心して治療が受けられるようお手伝いをするのが役割です。

治療の選択肢として抗がん剤治療を提示されたとき、医師からの説明で分からなかったことを補足して、情報の整理、気持ちの整理をサポートします。そして治療中、治療終了後も継続して、少しでも副作用を軽く、心と体の苦痛をやわらげて、その人らしく過ごせるように、医師、薬剤師、看護師をはじめとする多職種と相談しながら対応します。

治療の選択に迷うとき、治療費や副作用の心配、気持ちがつらい時、お困りなことがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。

受診されている科の医師・看護師に声をかけていただくか、お電話でも相談を受けています。

がん化学療法看護認定看護師 武部千恵実

お知らせ

●次回、市民健康講座の開催について

第70回「住民が育む地域医療について」 開催日：平成25年9月27日（金）

講師：浜松医科大学 地域医療学講座 山岡泰治 先生

※場所は南棟会議室、時間は19:00～20:30です